

デジタル技術を活用した “稼ぐ力”の創造

現在、デジタル技術の進展に伴うビジネス環境の大変革を背景に、IoT・AI・ロボットを契機とした新たな付加価値創出、新たな事業創出に取り組み、“稼ぐ力”を創造していかなければ、ビジネス競争力が保てなくなるものと想定されています。

そこで“稼ぐ力”を生み出すための経営とデジタル活用に関わる動向を紹介し、地域中小企業の“稼ぐ力”の創造に向けたきっかけとするとともに、先進的に“稼ぐ力”の創造にチャレンジする地域中小企業の取組事例を紹介します。

日時 2020年2月19日（水）
13時30分～17時15分
（開場13時00分）

定員 200名 参加費
無料
（事前申込制）

対象 デジタル技術を活用した“稼ぐ力”の創造に関心のある事業者、自治体関係者他
※応募者多数の場合等、ご参加いただけない場合がありますことご容赦ください。

会場 コンgressクエア日本橋
3F ホールC・D
（東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル）

<交通アクセス>東京メトロ「日本橋駅」直結



お申込み方法

申込URL:

https://www.mizuho-ir.co.jp/seminar/info/2020/iot_ai0219.html

上記のWebサイトの「お申し込み」フォームから、必要事項をご記入のうえお申し込みください。
（事務局：みずほ情報総研株式会社）

プログラム

開会挨拶：13:30～13:40

経済産業省 関東経済産業局

講演：13:40～14:30

株式会社FAプロダクツ 代表取締役社長 貴田義和 氏

「“稼ぐ力”を生み出すデジタルファクトリーの最新動向と変革事例」

大学卒業後、将来的な起業を視野に入れ、キーエンスに入社。同社では、ロボットや自動機に取り付けるセンサーやカメラをエンドユーザー向けに20年にわたり販売。自動車・2次電池業界の大手顧客の攻略担当に就任し、その後、FAプロダクツの前身となるFAナビを共同設立。翌年FAプロダクツとして分社、代表取締役に就任。製造工業向けのロボットシステム、IoTシステム、シミュレーション分析ツールの販売、導入を行う。

基調講演：14:30～15:30

国立研究開発法人産業技術総合研究所

情報・人間工学領域 領域長補佐（幹部職員） 田中純 氏

「中小企業におけるデジタルテクノロジーの意味と本質

～価値創出力＝稼ぐ力を向上させるための事業活動の考え方」

エンジニアとして各種システムの開発やソフトウェア構造モデリング手法の研究開発に従事後、事業会社の執行役員、戦略コンサルティングファームの取締役を経て、2007年「株式会社ジェイ・ティー・マネジメント」を設立、代表に就任。2011年より「国立研究開発法人 産業技術総合研究所」の招聘研究員に就任（上記と兼任）。同セキュアシステム研究部門・研究参与等を経て、2017年より情報・人間工学領域／領域長補佐（幹部職員）に就任。AI・IoTシステムやロボティクスの体系的導入を基軸とする企業のDX支援事業を立ち上げ、自ら陣頭指揮を執り、同領域躍進の原動力となる。

休憩・パネル展示見学：15:30～15:45

事例紹介：15:45～16:45

株式会社ミラック光学 代表取締役 村松洋明氏

「ものづくり企業が第二創業でAI開発に挑むまで」

顧客のニーズに向き合い、光学機器を作る会社からビッグデータ、AIを活用した新規ビジネスの創設に成功した事例。

株式会社ヒバラコーポレーション 代表取締役社長 小田倉久視氏

「人口減時代の暗黙知から形式知へ 中小生産現場からの事例と提言」

ビッグデータ、AI、遠隔操作技術を駆使し、従来の塗装業から新規ビジネスの創設に成功した事例。

株式会社土屋合成 代表取締役社長 土屋直人氏

「24時間365日フル稼働工場の自動化への挑戦！」

徹底したデジタル技術の活用により品質の向上と省人化を行い、新規製品の開発、顧客の開拓を行うことに成功した事例。

施策紹介：16:45～17:05

関東総合通信局・関東経済産業局

「総務省・経済産業省のIoT関連施策」

総括講演：17:05～17:15

ロボット革命イニシアティブ WG1 中堅中小AG主査 松島 桂樹 氏

「地域でのIoT・AI・ロボット導入・活用に向けた支援活動の面的展開に向けて」

閉会后：パネル展示・参加者名刺交換会：17:15～18:00

お問い合わせ先

【セミナー申込窓口（事務局）】 みずほ情報総研株式会社 経営・ITコンサルティング部

担当：武井、西脇 TEL：03-5281-5492 / E-mail：kconis_seminar@mizuho-ir.co.jp

【開催趣旨等】 経済産業省関東経済産業局 地域経済部 次世代・情報産業課

担当：小川、荒井 TEL：048-600-0284 / E-mail：kanto-it@meti.go.jp